

新潟市歴史資料だより

平成25年 3月29日
第 16 号

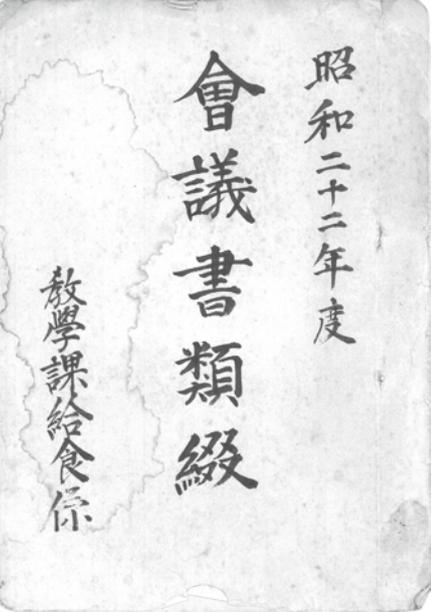
資料紹介 教育委員会保健給食課文書

市役所の各課で作成される公文書は、一定の保存年限を経過すると廃棄されます。歴史文化課では、毎年、この廃棄される公文書の中から、大きな出来事や市の意思決定に関わる公文書など、歴史的価値のある公文書を選別して引き継いでいます。平成6(1994)年度以降、これまでに約7,760点、文書保存箱にして約800箱の公文書を引き継ぎました。

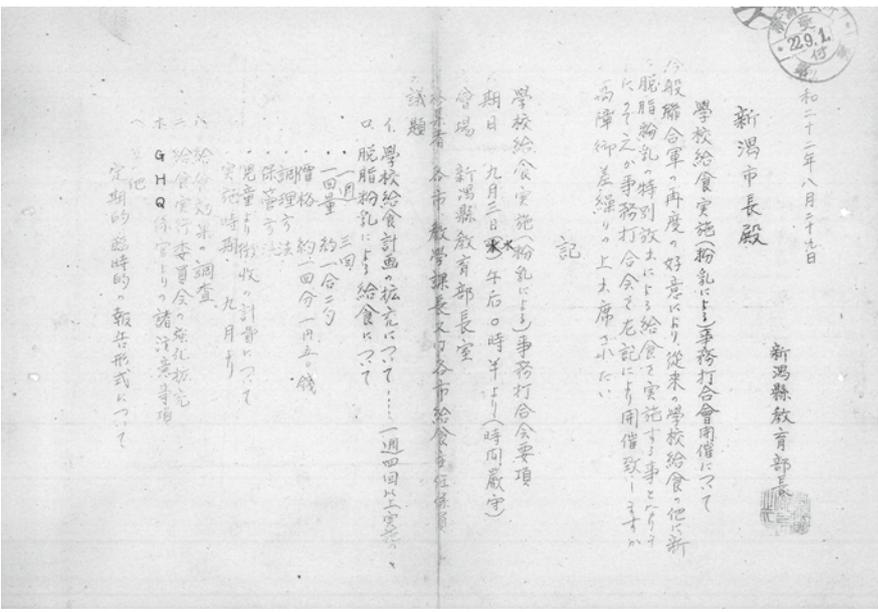
掲載した公文書は、今年度、教育委員会保健給食課から引き継いだものの内の1点です。かつて存在

した教学課給食係の昭和22(1947)年度の公文書で、「会議書類綴」の表題がついています。綴には学校給食に関する87件の公文書が綴られています。

下に掲載した公文書は、同年8月29日に新潟県教育部長から新潟市長あての文書で、進駐軍放出物資の脱脂粉乳による給食実施についての事務打合せ会の案内です。打合せ会には各市の教学課長や給食主任係員が招集され、給食で脱脂粉乳を使う回数や、一回当たりの使用量などの詳細について話し合われたことが分かります。新潟市における戦後の学校給食は、22年1月から一部の学校で開始され、同年11月から脱脂粉乳が使われるようになりました。



(表紙)



昭和二十二年八月二十九日
新潟県教育部長 印

新潟市長殿

学校給食実施(粉乳による)事務打合せ会開催について

今般連合軍の再度の好意により、従来の学校給食の他に新に脱脂粉乳の特別放出による給食を実施する事となりましたので、之が事務打合せを左記により開催致しますから、万障御差練りの上出席されたい。

記

学校給食実施(粉乳による)事務打合せ会要項

1. 期日 九月三日(水) 午后〇時半より(時間厳守)
2. 会場 新潟県教育部長室
3. 参加者 各市教学課長又は各市給食主任係員
4. 議題

イ. 学校給食計画の拡充について：一週四回以上実施のこと

ロ. 脱脂粉乳による給食について

- ・ 一週 三回
- ・ 一回量 約一合二勺
- ・ 価格 約一回分一円五〇銭
- ・ 調理方法
- ・ 保管方法
- ・ 児童より徴収の計費について

・ 実施時期 九月より

ハ. 給食効果の調査

ニ. 給食実行委員会の強化拡充

ホ. GHQ係官よりの諸注意事項

ヘ. その他

定期的、臨時的の報告形式について

平成24年度事業概要

多くの方々のご協力を得て、資料の公開・保存などに関する事業を実施しました。概要を紹介します。

■資料の公開

歴史資料整備室で古文書等の複製資料や図面・写真、行政刊行物などを公開しています。旧更正図・土地台帳は、横越公文書分類センター（江南区役所横越出張所3階）で公開しています。利用の際は、事前に歴史資料整備室へご連絡ください。

今年度の一般利用状況は、以下のとおりです。

区分	図書	更正図	文書	公文書	写真	計
閲覧	36	97	105	27	8	273
複写	61	104	116	25	15	321
掲載	4	1	4	0	15	24
計	101	202	225	52	38	618

(平成25年 3月25日現在)

■資料の調査・収集

①歴史資料所在調査

市内の民間や組織が所蔵している歴史資料の現状確認調査を行っています。今年度は旧新潟（7か所）・旧新津（7か所）・旧西蒲（3か所）・旧白根（1か所）の各地区で調査しました。

②歴史公文書の引き継ぎ

市役所各課等の廃棄公文書の中から歴史的価値のある文書を選別し、歴史公文書として引き継いで保存しています。今年度は821点（紙文書641点、電子文書180点）、文書箱にして55箱を引き継ぎました。

■資料の整理・保存

①歴史資料の整理

市へ寄贈された歴史資料の整理・目録作成を行っています。今年度の整理状況は、以下のとおりです。

文書群名	区分	点数	主な内容
東区山木戸 増井家文書	寄贈	362	地主経営関係資料
那須塩原市 星野家文書	寄贈	26	旧新潟市街地絵葉書
西区内野西 吉崎氏収集文書	寄贈	243	内野周辺の古写真
北区松浜 伊藤家文書	寄贈	2	軍恩松浜支部資料

②歴史資料のマイクロフィルム撮影と複製本の作成

歴史資料のマイクロフィルム撮影と焼付けによる複製本を作成しています。今年度の撮影フィルム本数は42本、作成した複製本は以下の通りです。

・豊栄市役所(岡方支所)文書(明治～昭和期)：270冊

③歴史資料目録データの整備

市が所蔵する歴史資料の利用をスムーズにするため、検索システムの構築作業を進めています。今年度は、目録データをシステムに登載する準備として、手書き目録のデータ化と、既存の目録データの整備作業を行いました。今年度は約20万件の作業を終了しました。

④公文書分類センター収納の長期保存文書の整理

市役所各課による公文書利用の利便性を高めるため、潟東公文書分類センター収納の公文書のうち、長期保存の公文書約600箱の整理・文書目録作成を行いました。

⑤土地登記申請書(副本)の整理

横越公文書分類センターでは、資産税課所管の土地登記申請書(副本)の整理を行いました。今年度は文書箱約60箱分の整理・目録作成を行いました。

■歴史講座「古資料が語る新潟の歴史」の開催

9月6・13・20・27日に、新潟市万代市民会館で、講座「古資料が語る新潟の歴史」を開催し、多くの方々からご参加いただきました。

■文書館整備検討委員会の開催

市域の歴史資料や、市役所各課の歴史公文書を調査・収集し、保存・公開する文書館のあり方について検討する文書館整備検討委員会を3回開催しました。各回の会議内容は以下の通りです。委員の方々からの意見をもとにまとめた「(仮称)新潟市文書館整備基本計画(案)」は、2月15日に市長に提出されました。基本計画の概要は、次号でお知らせします。

回	日程	主な会議内容
5回	7/24	1. 文書館整備基本計画(案)について 2. 今後のスケジュールについて
6回	11/1	1. 文書館整備基本計画(案)について (1) 文書館整備基本計画(案)の修正について (2) 文書館の施設と運営及び整備の推進にあたってについて 2. 今後のスケジュールについて
7回	2/6	1. 文書館整備基本計画(案)について 2. その他

新潟の歴史 こぼれ話 (その3)

このコーナーでは、市民の方々から寄せられた新潟の歴史に関する質問から、いくつかを紹介します。

Q 昔、市立の農業学校があったそうですが、いつ、どこにあったのですか？

A 新潟市立農業学校は、昭和21（1946）年4月に創設されました。創設時は、木戸国民学校（現、木戸小学校）の3教室を借りて仮校舎とし、河渡に実習地がありました。当時の新聞記事によると、生徒48人、専任の先生4人、校長先生は未定。計上された予算はわずか2万5,000円、ほかに施設費として1万円があるだけでしたが、「近代農業経営の粋を

行くつもりです」との先生の力強い言葉も載せられています。その後、23年4月の新制高等学校の設置に伴い新潟市立農業高等学校となりました。新聞には、園芸科約40人、農業科約10人の生徒募集の記事が掲載されています。翌年11月には、河渡にあった石井精密の工場を改造した新校舎が完成し、校舎新築落成式と開校式が行われました。

しかし、市財政の窮乏と市内の入学者が少なかつたため、27年度の生徒募集を中止し、28年3月に閉校されました。閉校時の生徒数は49人で、このうち市内の生徒はわずか6人でした。在校生30人は県立加茂農林高等学校に転校しました。

歴史文化施設紹介 — 江南区郷土資料館 —

江南区郷土資料館は、昨年10月にオープンした江南区文化会館の中にあります。これまで亀田市街の中心部にあった亀田郷土資料館を移転・拡充し、江南区全体の郷土資料を収集・展示する施設です。

1階の常設展示室には、江南区の遺跡から出土した土器や石器のほか、検地帳・絵図などの古文書、亀田じま縞の製作に関わる道具類や、かつて亀田郷で使われた農具や漁具などが展示されています。また、展示室の一角には、囲炉裏のある農家の部屋が再現されています。2階の展示コーナーには、様々な昔の生活道具類が展示されています。また、郷土資料コーナーには、江戸時代に亀田地区で盛んだった俳句関係の古文書が展示されています。

< 案 内 >

- ・ 開館時間：午前10時～午後7時（月～木・土）
午前10時～午後5時（日・祝日）
- ・ 休 館 日：毎週金曜日
年末年始（12/29～1/3）
- ・ 入 館 料：無料
- ・ 所 在 地：新潟市江南区茅野山3丁目1番14号
新潟市江南区文化会館内
- ・ 電 話：025-383-1001（文化会館代表）
- ・ 交 通：車 高速道新潟亀田ICから約5分
新潟バイパス紫竹山ICから約10分
電車 JR亀田駅西口から徒歩約50分
バス バス停「アスパーク亀田」下車すぐ
（江南区区バス、茅野山早通乗合バス）



亀田郷で使われた農具や漁具



再現された農家の部屋



写真紹介

思い出の建物

右に掲載した3枚の写真は、いずれも昭和前期に建設された建物の写真です。すでに取り壊され、跡地には別の建物が建ったり、道路になったりしていますが、人々に親しまれた建物で、その特徴的な姿をご記憶の方も多いと思います。写真は3枚とも昭和48（1973）年に撮影されたものです。

写真1 昭和7（1932）年に完成した県庁です。鉄筋コンクリート造り4階建てで、車寄せのアーチと石積みの外壁が印象的な建物でした。この前の県庁は、東中通一番町（現、JA全農新潟付近）にありましたが、老朽化と狭隘化のため移転新築されました。当初は中央に高塔を建設する予定でしたが、財政難のため取りやめになりました。この建物は、60（1985）年に県庁が現在地へ移転した後に取り壊され、跡地には市役所の本館が建設されました。

写真2 昭和11（1936）年に完成した新潟電鉄（のちの新潟交通電車線）の県庁前駅です。木造3階建て、外壁は耐火タイル張りで、2階には新潟電鉄の本社事務室が置かれました。60年の県庁の移転により、駅名が白山前駅と改称されましたが、平成4（1992）年、白山前一東関屋間の廃止に伴い取り壊されました。跡地は、道路敷と一番堀広場（ポケットパーク）になりました。

写真3 昭和13（1938）年に完成した新潟市公会堂です。鉄筋コンクリート造り3階建てで、高さ約30メートルの時計塔が特徴的な建物でした。当初の時計は直径約2.4メートルの電気時計で、日本で2番目の大きさでした。昭和前期、市は財政難のため市費で公会堂を建設できませんでした。公会堂は石油業で財をなした新津恒吉の寄付によって建設されました。39（1964）年の新潟地震で大きな被害を受け、時計塔の時計も外されました。その後も修理を重ねましたが、老朽化のため、平成6（1994）年に閉館しました。跡地には、市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）が建てられました。

お願い

歴史資料の所在調査を実施しています。江戸時代や明治～昭和期の文書・写真、戦中・戦後の記録などがありましたら、ご連絡ください。また、お持ちの古文書等の保存方法についての心配ごとがありましたら、歴史文化課までお知らせください。



写真1 県庁



写真2 県庁前駅



写真3 公会堂

編集・発行 新潟市文化観光・スポーツ部
歴史文化課（担当：歴史資料整備室）
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1
TEL 025-226-2584
FAX 025-230-0412
Eメール rekishi@city.niigata.lg.jp